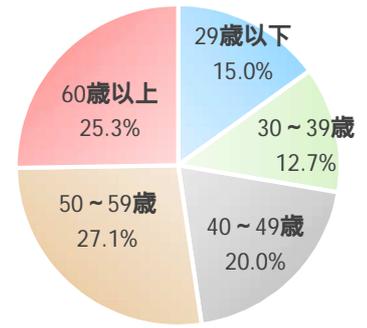


# エイジフレンドリーガイドラインについて

## ～ 高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン～

### 年齢別災害発生状況

- ▶ 千葉県内で発生している労働災害のうち、60歳以上の労働者が占める割合は**25.3%**です。令和4年の休業4日以上労働災害発生件数のうちコロナ関係除く。
- ▶ 労働災害発生率は、若年層に比べ高年齢層で相対的に高くなり、中でも転倒・腰痛などの行動災害の発生率が高い状況にあります。



### エイジフレンドリーガイドラインの目的

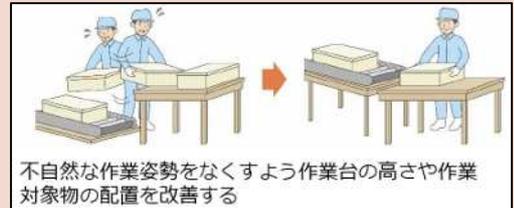
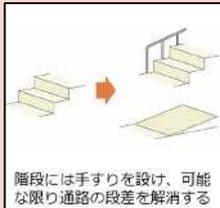
上記のとおり、高年齢労働者の労働災害が増加していることから、エイジフレンドリーガイドラインが策定されました。このガイドラインは、高年齢労働者が安心して安全に働ける**職場環境づくり**や労働災害の予防のための**健康づくり**を推進することを目的としています。

### エイジフレンドリーガイドラインの概要

本ガイドラインでは、事業者及び労働者に以下の取組が求められています。

#### 職場環境の改善

- ▶ 高齢者でも安全に働き続けることができるよう、施設、設備、装置等の改善



#### 事業者の取組

#### 安全衛生管理体制の確保

- ▶ 経営トップによる安全衛生方針表明
- ▶ 高年齢者災害対策の担当者や組織の指定
- ▶ リスクアセスメントの実施

#### 安全衛生教育

- ▶ 高齢者対象の教育では、時間をかけ、写真、映像等を活用し、理解しやすい内容とする
- ▶ 再就職者等には特に丁寧な教育訓練を実施

#### 高年齢労働者の健康や体力の状況の把握

- ▶ 健康診断の確実な実施
- ▶ 体力チェックの実施 チェック表→



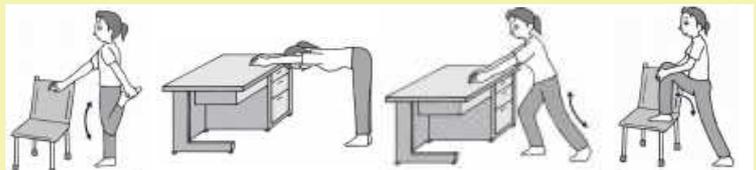
#### 高年齢労働者の健康や体力に応じた対応

- ▶ 把握した健康状態等に応じた業務の選択
- ▶ 身体機能の維持向上のための取組み実施

#### 労働者の取組

#### 自らの健康づくり

- ▶ 自らの身体機能や健康状況を把握し、ストレッチ等の運動を取入れ、食習慣の改善等により生活習慣の改善をする



ストレッチの例「介護業務で働く人のための腰痛予防ポイントとエクササイズ」より

その他のエイジフレンドリーガイドラインに関するパンフレット等は右のQRコードまたは次のキーワードで検索してください。

高年齢労働者 厚生労働省

Q 検索

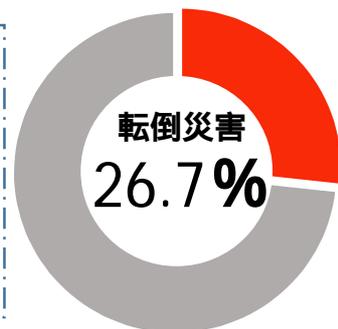


# 身近にある職場の危険 ～ 転倒災害を防止しましょう～



## 転倒災害発生状況

- ▶ 千葉県内で発生している労働災害のうち、**26.7%**が転倒災害です。  
令和5年の休業4日以上労働災害発生件数のうち新型コロナウイルス感染症関係除く。
- ▶ 転倒災害は、業種に関係なく**全業種**で発生しています。
- ▶ 50歳以上を中心に、転倒による骨折等の災害が増加しています。
- ▶ 転倒災害による平均休業日数は45日と、**1ヶ月以上**となっています。  
令和5年確定値労働者死傷病報告による休業見込日数より。



## 転倒災害防止対策の方法

- ▶ 転倒災害防止対策の方法は**ハード面の対策**と**ソフト面の対策**、両方の対策を取り組むことにより、その対策効果は高まります。
  - ・ ハード面の対策 転倒災害を発生させる環境要因の解消など
  - ・ ソフト面の対策 労働者の身体能力の低下解消、安全教育の実施など

### ハード面の対策

#### 通路・階段・出入口の4S



#### 床の水・油汚れの除去



#### 転びにくい靴の選択

- ・ サイズ
- ・ 耐滑性
- ・ トゥスプリング  
(つま先が高い)



#### 注意喚起標識の設置



#### 照度の確保



### ソフト面の対策

#### ストレッチ・体操の実施

転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」



動画

#### ながら歩き禁止



転倒予防関係リーフレットの回覧等による労働者への取り組み周知

転倒災害防止の安全教育実施

その他の転倒災害防止に関するパンフレット等は右のQRコードまたは次のキーワードで検索してください。

転倒災害防止 厚生労働省

検索



厚生労働省・千葉労働局 健康安全課

(R6.7)